

《参考：ギャロッピング現象によるショート(短絡)の発生状況》

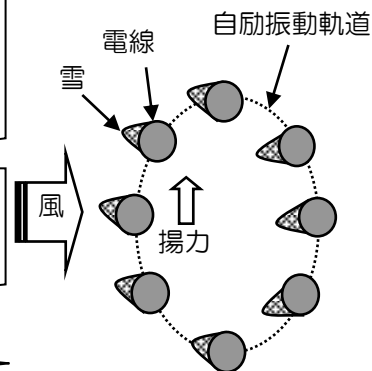
十和田幹線でのショート発生箇所



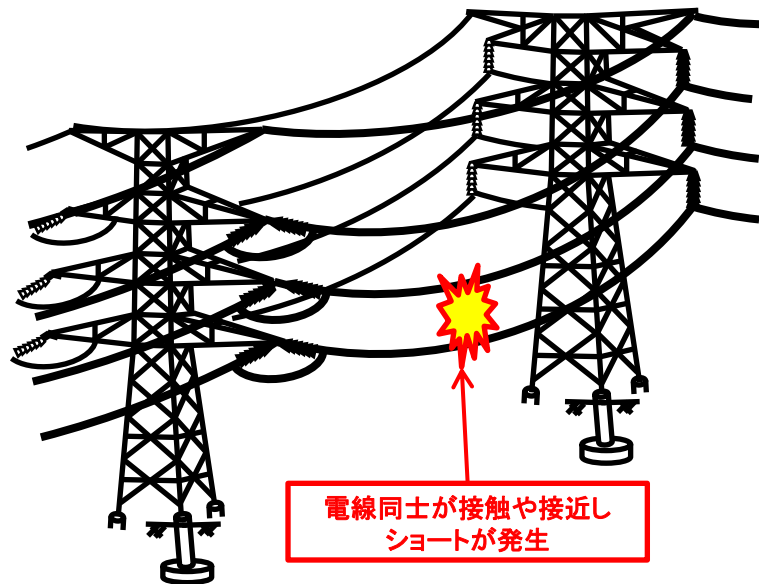
ギャロッピングによるショートの発生イメージ

気温・風向・風速・雪の各要素がある一定条件を満足した時、電線に雪が羽根状に付着し、揚力が発生

電線の振動と相まって大きな振動へ発達し、電線同士が接触や接近



ショートが発生

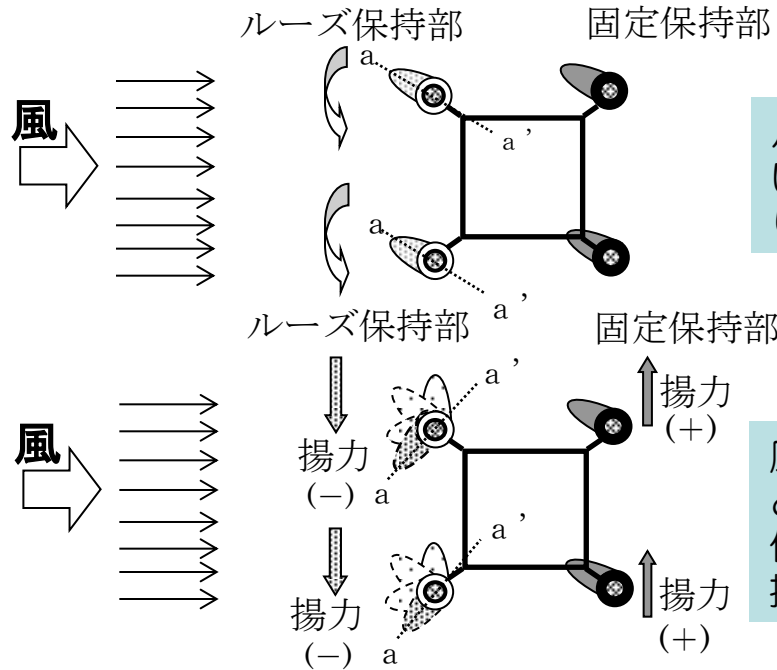


《参考：ギャロッピング対策》

ルーズスペーサ



写真の左側電線保持部が自由に可動することにより、揚力特性が変化し、ギャロッピングを抑制する。



ルーズ保持部で保持している電線が偏心荷重により下方へ捻れる

風の迎え角が変化することにより、揚力特性が変化してギャロッピングを抑制

【凡例】 ●:固定保持部 ●:ルーズ保持部 ●:電線 ▲:着雪(固定側) ▲:着雪(ルーズ側)